

教材分析シート

(1)年(月)組 授業者(中村 基子)

教材名

ぼんたとかんた (わたしたちの道徳)

内容項目

善悪の判断 A (1)

ねらい

ぼんたが大きな声で「ぼくは行かないよ。」と言った気持ちを考えることを通して、よいことと悪いことの区別をし、よいことを進んで行おうとする態度を育てる。

① 主人公

(道徳的に最も大きく変容した人物)

ぼんた

② 助言者

(主人公の変化に重要なヒントを与える人・モノ)

ぼんたの心の声

③ 場面分け (主人公を主語にして分ける)

Before (道徳的な変化前)	仲良しのかんたに裏山に行こうと誘われる。ぼんたは「入ってはいけない。」と止めるが、かんたを止められなかった。
助言者の登場	「ぼくも かんたのように あそびたいな。でも…」と一人になったぼんたがじっと考える。心の声。
転 (道徳的変化) After (変化後)	「ぼくは行かないよ、だってあぶないから。」と大きな声ではっきり言った。

④ 一文読み (要約)

ぼんたが止めるのも聞かず、かんたが入ってはいけない裏山に入ったが、ぼんたがよく考え「ぼくは行かないよ。」と大きな声で叫んだので、かんたも裏山から飛び出し、よく考えて「ぼくも行かない。」と決め、二人で仲良く遊んだ話。

⑤ 発問 (3種類の質問)

Before の発問 (道徳的問題を明らかにする)	→内容理解の発問「主人公の道徳的問題は何か？」 かんたを止められず、一人になったぼんたは、どんなことをじっと考えていたのでしょうか。
「転」又は After の発問 (主人公の気づきに迫る)	→中心発問「主人公は何に気づいたのか？」 「ぼくはいかないよ。」と大きな声ではっきり言ったのは、なぜでしょう。
補助発問 (あれば)	ぼんたは大きな声で言ってどんな気持ちになったでしょう。
価値追求の発問 (道徳的価値をおさえる) (テーマにかかわる発問)	→おさえの発問(「〇〇って何だろう?」、手紙、ふり返り等) ぼんたのいいなあと思うところはどこでしょう。

